



# ひがしなるせ

## 議会だより

発行  
No. 136

平成17年4月20日



**みんなでがんばろう！**

**エイ・エイ・オー！**

(はりきる東小1年生)

こんなことが決まりました……………	2
主な予算・条例など……………	4
一般質問……………	6
村長の施政方針……………	9
予算審査……………	10
私もひとこと(入道・高橋ルミ子さん) ……	12

# こんなことが決まりました

## 3月定例会



三月八日から十五日までの会期で定例会が開かれ、平成十七年度の各会計予算案や平成十六年度の各会計補正予算案並びに各種条例の制定及び改正案が提出された。  
会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書案が提出され、これらすべての議案などは全会一致で原案可決された。

### 住民生活課と税務課が統合 民生課となりました

#### 二課を統合し「民生課」に

四月から「税務課」と「住民生活課」を統合して「民生課」とする課室設置条例の一部を改正。平成十七年度からは「総務課・民生課・産業振興課・建設課・ダム対策室・出納室」の四課二室体制で、より効率的な行政運営を目指すこととした。

#### 行政協力員の報酬を月額制に

行政改革の一環として、職員の地区担当制を導入したことにより行政協力員の報酬を「月額十万円」から「月額三千元」に改正した。

#### 農業委員会の選挙による委員の定数を削減

行政改革の一環として、現在の選挙による委員定数「十二名」を次の選挙からは定数「十名」とすることにした。

#### 子育て支援金条例を制定

子どもの健やかな成長を支援するため、出生時及び小・中学校入学時に祝金を支給する「子育て支援金条例」を制定した。

区分	出生時	小学校入学時	中学校入学時
第1子及び第2子	三万円	三万円	三万円
第3子以降	五万円	五万円	五万円

※この条例制定に伴い「出生祝金条例」は廃止した。

## 皆さんからの請願・陳情

3月定例会に提出された請願・陳情は次の案件を採択と決定した。

1. 「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情  
日本国家公務員労働組合連合会 中央執行委員長 堀口 士郎
2. 公共サービスの低下をもたらす「市場化テスト」（官民競争入札）の反対を求める陳情  
秋田県労働組合総連合 議長 日野 充 外1名
3. 確実な税源移譲、交付税の拡充による自治体財政の確立、公務・公共業務を後退させる「市場化テスト」反対、地域経済等に悪影響を及ぼす「給与見直し」に反対することを求める陳情  
日本自治体労働組合連合秋田県本部 中央執行委員長 伊勢 孝志
4. 住民の生活と地域経済を悪化させる公務員賃金の「地域給」反対を求める陳情  
秋田県労働組合総連合 議長 日野 充 外1名
5. 地方の公務員賃金の大幅引き下げに反対し、地域経済等の活性化を求める意見書採択に関する陳情  
連合秋田湯沢地区連絡会 代表 伊藤 義彦
6. 地域別最低賃金の引き上げと最低賃金制度の改正を求める陳情  
秋田県労働組合総連合 議長 日野 充 外2名
7. パートタイム労働者及び有期契約労働者の適正な労働条件の整備と均等待遇を確保する法律の制定を求める意見書採択に関する陳情  
連合秋田湯沢地区連絡会 代表 伊藤 義彦
8. 定率減税の縮減・廃止の中止を求める意見書採択に関する陳情  
連合秋田湯沢地区連絡会 代表 伊藤 義彦
9. 社会保障制度の抜本改革を求める意見書採択に関する陳情  
連合秋田湯沢地区連絡会 代表 伊藤 義彦
10. 安心して子どもを生み育ていけるように現在の乳幼児医療費助成制度の維持を求める陳情  
乳幼児医療費助成制度の維持を求めるネットワーク 代表委員 吉田 慶子 外3名
11. 米価暴落の異常事態に関する陳情  
秋田県米価対策共闘会議 代表 佐藤 長右衛門
12. 食料自給率の抜本的向上を求める陳情  
農民運動秋田県連合会 代表 佐藤 長右衛門
13. 「乳幼児医療費無料制度」に自己負担を導入せず現行制度の継続を求める陳情  
新日本婦人の会東成瀬支部 代表 佐々木 光枝
14. 雪害対策支援についての陳情  
こまち農業協同組合 東成瀬支店長 佐々木 誠一 外3名

〔1～12の陳情については、国など各関係機関に意見書を送付した〕

## 臨時会

二月二十四日に臨時会が開催され湯沢雄勝広域市町村圏組合の規約変更案や一般会計補正予算案などが提出され、すべての議案が全会一致で原案可決された。

### 湯沢雄勝広域市町村圏組合規約の変更

市町村合併などにより主に次のような変更をすることとした。

○市町村合併前の「湯沢市・稲川町・雄勝町・皆瀬村」を三月二十一日に湯沢雄勝広域市町村圏組合から脱退させ、三月二十二日から湯沢市として新たに加わらせる。

○組合議会の議員定数を「十二人」から「九人」とし、市町村別の内訳は「湯沢市五人・羽後町二人・東成瀬村二人」とする。

○組合分担金の負担割合について、「平等割は二割を一割」に「人口割は八割を九割」にそれぞれ変更する。

### 一般会計補正予算

国の補正予算でジュネス栗駒カントリーパーク整備事業が決定になったため、平成十七年度に八千四百七十万円の債務負担行為を追加することとした。

平成17年度当初予算

# 携帯電話通信用鉄塔建設事業など

## 29億8千万円の一般会計予算を可決

※すべての案件が原案どおり可決された

案 件	
平成16年度一般会計補正予算 (第6号)	(1億8,722万円 追加)
平成16年度国民健康保険特別会計 (事業勘定) 補正予算 (第4号)	(1,165万8千円 減額)
平成16年度国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定) 補正予算 (第3号)	(134万円 減額)
平成16年度老人保健特別会計補正予算 (第4号)	(1,417万9千円 減額)
平成16年度介護保険特別会計 (保険事業勘定) 補正予算 (第4号)	(1,423万5千円 追加)
平成16年度介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定) 補正予算 (第4号)	(397万円 追加)
平成16年度簡易水道事業特別会計補正予算 (第4号)	(827万円 減額)
平成16年度下水道事業特別会計補正予算 (第4号)	(1,761万円 減額)
平成17年度一般会計予算	(総額 29億8,000万円)
平成17年度国民健康保険特別会計 (事業勘定) 予算	(総額 2億9,678万円)
平成17年度国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定) 予算	(総額 6,400万円)
平成17年度老人保健特別会計予算	(総額 4億1,322万6千円)
平成17年度介護保険特別会計 (保険事業勘定) 予算	(総額 2億3,381万8千円)
平成17年度介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定) 予算	(総額 3億1,574万円)
平成17年度簡易水道事業特別会計予算	(総額 6,678万7千円)
平成17年度下水道事業特別会計予算	(総額 2億6,804万3千円)

- ◎道路新設改良・・・・・・・・・・ 2,854万円
- ◎橋りょう維持費・・・・・・・・・・ 400万円
- ◎除雪機械購入費・・・・・・・・・・ 3,014万円
- ◎ジュネス栗駒カントリーパーク事業・・・・ 9,998万円
- ◎公営住宅建設工事・・・・・・・・・・ 3,662万円
- ◎防火水槽新設工事・・・・・・・・・・ 500万円
- ◎軽小型動力ポンプ積載車購入・・・・・・・・ 680万円
- ◎中学校大規模改造関連備品・・・・・・・・ 400万円
- ◎国際感覚豊かな人材育成事業・・・・・・・・ 188万円
- ◎生涯学習推進事業・・・・・・・・・・ 104万円
- ◎子育て支援ネットワーク事業・・・・・・・・ 138万円

### 16年度一般会計補正予算の主なもの

#### ◎中学校大規模改造事業費・・・2億3,600万円



新しい通園バスで (こばと保育園前)

- ◎通園バス購入費・・・・・・・・・・ 250万円
- ◎中山間地域総合整備事業測量設計等委託料追加  
・・・・・・・・・・ 272万円
- ◎観光費修繕料追加・・・・・・・・・・ 120万円
- ◎冬期交通対策費追加・・・・・・・・・・ 1,063万円
- ◎常備消防費負担金追加・・・・・・・・・・ 122万円
- ◎長期償元金追加・・・・・・・・・・ 2,266万円
- ◎財政調整基金積立金追加・・・・・・・・ 5,000万円
- ◎減債基金積立金追加・・・・・・・・・・ 100万円
- ◎老人保健特別会計繰出金追加・・・・・・・・ 971万円

# 主な予算・条例など

※17年度予算に関する主な質疑は10～11ページに掲載

## 17年度一般会計予算の主なもの

- ◎公有林整備事業・・・・・・・・・・ 2,939万円
- ◎一般コミュニティ助成事業補助金・・・・ 1,380万円
- ◎奨学資金貸付金・・・・・・・・・・ 2,796万円
- ◎携帯電話通信用鉄塔建設事業・・・・・・ 9,160万円
- ◎地域活性化資金貸付金・・・・・・・・・・ 1億円
- ◎物産振興資金貸付金・・・・・・・・・・ 300万円
- ◎生活バス路線等維持費補助金・・・・・・ 500万円
- ◎長寿社会づくりソフト事業・・・・・・ 100万円
- ◎地域集会所建設事業費補助金・・・・・・ 1,250万円
- ◎戸籍電算化事業・・・・・・・・・・ 2,100万円
- ◎村単福祉医療給付費・・・・・・・・・・ 101万円
- ◎少子化対策費・・・・・・・・・・ 290万円



雪害が心配される栗駒山荘（3月10日）

- ◎観光施設補修工事・・・・・・・・・・ 900万円
- ◎合併処理浄化槽設置事業改修費補助金・・・・ 2,000万円
- ◎発生ガス対策設備等工事・・・・・・・・・・ 1,650万円
- ◎夢プラン応援事業費・・・・・・・・・・ 1,068万円
- ◎自然乾燥米生産支援事業・・・・・・・・・・ 147万円
- ◎地域用水路環境整備事業負担金・・・・・・ 1,050万円
- ◎地域で創る水田農業支援事業・・・・・・ 132万円
- ◎中山間地域総合整備事業・・・・・・・・・・ 1億406万円
- ◎水と緑の創造モデル事業・・・・・・・・・・ 125万円
- ◎高能率生産団地路網整備事業負担金・・・・ 750万円
- ◎使える森を作るための路網整備事業補助金・ 1,316万円
- ◎森林整備地域活動支援交付金・・・・・・・・ 1,640万円

## 案 件

- 東成瀬村課室設置条例の一部を改正する条例について  
(2ページに関連記事を掲載)
- 東成瀬村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例について
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について  
(2ページに関連記事を掲載)
- 東成瀬村法定外公用財産管理条例について
- 東成瀬村社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について
- 東成瀬村子育て支援金条例について  
(2ページに関連記事を掲載)
- 東成瀬村農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例について  
(2ページに関連記事を掲載)
- 東成瀬村農業委員会の選任による委員の議会推薦委員に関する定数条例について
- 東成瀬村農業委員会の選任による委員の団体推薦に関する条例について
- 平成16年度村営土地改良事業〔成瀬東部地区中山間地域総合整備事業農業用水路（五里台）〕分担金の変更について
- 平成16年度村営土地改良事業〔成瀬東部地区中山間地域総合整備事業農業用水路（草ノ台）〕分担金の変更について
- 東成瀬村道路線の認定について
- 平成17年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）への繰入について
- 平成17年度簡易水道事業特別会計への繰入について
- 平成17年度下水道事業特別会計への繰入について

# 一般質問

佐々木 健 夫 議員

## 入札予定価格を引き下げできないか

村長／根拠の明示が厳しい



**問** 村の工事予定価格に対して、過去の新聞報道でも指摘されたとおり、落札率が九十九%や九十八%では高すぎると申してきた。村長は、入札においては村の要綱どおりに透明性をもってやっているし、落札率は結果であり適正な対応をしていると述べている。

しかし、落札率が依然として高いとすれば発注する村として何らかの方法で改善する方向へ導くのが当然だと思う。

例えば、設計額に対する入札予定価格の切り下げなども考えられるが、これをやれば国・県などから何か指摘されるものか。また、全ての工事の入札に村外業者を入れるなども対応策になると思う。

入札予定価格公表も、落札率が高いことへのオンブズマンの指摘が発端であったことを考えても、落札率の低下がその目的と思う。

村は自立に向い厳しい財政状況にあり、職員的生活給となる給与まで削減している現実において、村長が常に述べているとおり、村民等しく痛みを分かち合うということからしても無理な言い方ではないと思われ。

確かに、村民の働く場として、また、村内業者育成ということも大事なことがあるが、この分野だけが聖域として従前同様でよいということにはならないと思うので、これに対する村長の考えを伺う。

**村長** 入札に対する落札率は、結果であって私のほうではそのものにとりか言いう立場にないと思うているし、職員給与削減とは趣旨が別なものと思っている。

国・県では、できるだけ設計額を予定価格にというふうな指導があるとも言われているし、入札予定価格設定の段階で、設計額を歩切りした場合は、その根拠を求められた場合にその資料を示すことが厳しいのかなと思うし、補助事業の場合は補助金の返還になることも想定される。

業者選定では、村内業者でできるもの、村外業者に参加していたくもものをその都度協議して決定している。

### 村の自立は 個々の所得向上が先決

**問** 村の自立は、村財政が存続できても村民個々が生活できる経済力がないとそこに永住することができない。自立する以上、収入の向上を図ることが先決と思う。今だからこそ役場職員が課を越えて一丸となり、今年一年は農業なりを検討してみとか、特に農業振興のリーダー役としての農業指導センターを重点強化して収入の底上げを図るような仕掛けが必要だと思う。

**村長** 行政は、農業基盤整備を通じて経済力を向上させていくとい

うことであり、村民の経済活動に直接行政が関わっていくことにはなりえないのではないかと。農業指導センターは、法人化や集落営農など農業団体、農業者の調整機能を中心に担っていただきたいと思う。

職員に対しては、常に各課を越えて一つの目的に向かっていくように申している。

(文責は質問議員)



今後の村の農業を熱く語る(1/30農業を語る集い)

### 他の質問項目

- ・ 公用車の効率的運用について
- ・ 第三セクターの経営コンサルについて





伊勢谷 政 雄 議員

## 防災対策の初期連絡網を緊密に

### 村長/訓練等も含め具体的に検討

**問** 新潟の集中豪雨等では、避難指示などの初期連絡の連携がスムーズに行かなかつたことが、被害拡大の要因であったとの報道があった。

村には防災計画マニュアルがあるが、大事なのは災害の予測、または発生した場合の情報の収集や迅速な対応であり、普段の訓練が職員や住民に徹底されているかが重要と考える。地域などとの連絡網のあり方等について見直す必要があるのではないかと。

**村長** 災害の際に一番大事なのは、初期の連絡網。初期体制が大事との認識は同じだ。

村の災害初動マニュアルは、風水害・雪害などと、地震災害などの二部構成になっている。

いずれも一番心配なのは、夜間の対応であるが、そういったことや訓練も含めた内容を具体的に考えていかなければならないと思っている。

#### 災害危険箇所などの把握・周知の対応は

**問** 災害時の被害を最小限に抑止するためには、どの場所でのどのような被害が起こるかを想定した上での対応が必要と思う。

想定される水害、土砂崩れ、などそれらの危険箇所の把握と、住民への周知などの対応について、考えを伺う。

**村長** 土砂災害、土石流と急傾斜地については指定している。こういった指定箇所については、「土石流災害マップ」で各家庭に配布したことがあるが、村では当面オフワークを通じて周知をしたいと考えている。

このオフワーク通信は、県の土砂災害総合通報システムと連動しており、これらのシステムとの対応も考えながら、災害指定地域の略図などで示すことができないか検討してみたい。また、各部落での集まりの際に確認をしていたように、地域でも積極的に関心を持っていただければと思う。

#### ダム事業から村への活性化対策は

**問** ダム事業は、付替道路、橋の下部工事が、十六年度補正事業で発注となり今後転流工事へと進むわけだが、ダム事業から村への活性化にはどのような事業が考えられるのか伺う。

**村長** ダム事業は国の直轄事業であり、村の方々が働ける場所が出るように、国のほうにお願いをしていくことになると思う。発注側として施工業者さんに「地元からこのような要望がある」と伝えることはできるが、それ以上のことは到底できないわけで、村も同じだ。

工事のピーク時には六百人以上

い働く人が必要になるといわれており、宿泊施設、日用雑貨、油、食料品などを村内から買っていたようにお願いしていきたいと思っている。

いずれにしても、積極的に村内からの雇用なども含めて、ダム事業者、施工業者さんにも働きかけをしていきたいと思っているが、行政ができることでできないことがあることは歴然としていると思う。

(文責は質問議員)



新潟中越地震被災地視察(長岡市土砂崩落現場)ここで皆川優太ちゃんが救出された

#### 他の質問項目

- ・ 行財政改革について
- ・ 農業対策について

# 一般質問

佐々木 喜榮知 議員

## 成瀬川の美化について

村長／住民運動として展開していく



**問** 現在、成瀬川は人為的に雑芥等投棄している状態にある。これは意識を高めるところが肝要と思うが、何か具体的な手を打ち、日本一のきれいな川にできないか。  
**村長** 現状としては、いわゆる不法投棄はあると認識している。私の家の傍に成瀬川に流入する河川があり、その合流点を見ると相当なごみがある現実を見ても、これは大変由々しき問題だと思っている。

資料に示されている大腸菌群数のデータにもあるが、これは今後はより減っていく方向にあると思う。つまり、合併浄化槽が普及することによって台所や風呂場などからの生投入はなくなるし、まして単独浄化槽等も大分あったし、トイレからは考えられない。

これからも環境を良くするための方角づけは大事であり、不法投棄、ポイ捨てをなくす住民運動・社会教育運動など重要視していきたいと思う。

地区座談会でも、ごみの減量化と、不法投棄もなくし分別収集を徹底していくし、行政の大きな施策の一つであると話をした。成瀬川をきれいにし、環境を整備していく姿勢は持ち続けていかなければいけないし、次代に残す財産であると思うので、それぞれの地区においてPR活動をしていただき、あるいは学校教育の場で、

子供達からこの運動を展開していくことも大事だと思うし、この課題に取り組んでまいりたいと思う。課長会議の中でもごみの不法投棄の問題に若干触れておいたが、ポイッとやっているのを見ても見ぬふりをせざるを得ない、厳しい状況があるが、そこから切り込んでいかなければいけないと思っしかりこれに取り組んでいく必要があると考えている。

### 環境整備について

**問** 河川の清流度を上げ、森林等広葉樹林も振興整備しながら、空・水・空気を整えて「環境ISO」がとれないか。

**村長** 環境ISOに類似したことは、ヨーロッパを中心としてFSCという森林の認証制度がある。これは日本ではまだ十三カ所しか認定されていないようだ。京都議定書の関係からしても大変大事な、我々が取り組んでいくべき課題であらうと思う。

したがって、これからも広葉樹林の整備だとか、タムの事業地域における森林の整備等、一番大事にしていくべき課題であると認識している。これからも、掃除するのではなくして投げ捨てる防止して、森林も整備しこれを一体で進めていく必要があると思う。これは議会の皆さんにおいても、それ

から地域においても同じだろうと思う。

お互いが連携しあってきっちりとこの対策にあたっていきたいと思うので、皆さんからも特段のご理解とご協力をお願いしたい。

(文責は質問議員)



ゴミの分別と減量化が急務（田子内地区）



# 施政方針

## 生活道路整備は地区の協力を



市長

▼平成十七年度予算は大規模な継続事業の着実な実行により、一般会計は前年よりも二億八千二百万円減の二十九億八千万円とした。「まちづくり計画」に基づき経常経費は前年に続き十％程度を削減。今後も行政改革推進による効果的な村政運営に努めたい。

▼住民と行政がより身近な形でサービスやコミュニケーションが図れるよう、四月から村広報を職員が各家庭に配布することにしたので、気軽に会話やご相談いただければありがたい。

▼成人病予防対策として実施している脳ドック・人間ドックについて、

は、新年度からは節目検診として、脳ドックは四十歳到達者、人間ドックは五十歳到達者の方々を対象として受診補助事業を行うことにした。今後は、この年齢に限定して継続する方針。

▼保育料について、十七年度においても、経済的体力の弱い若い世代の保護者の負担能力に大きく影響しない程度での引き上げを行う予定。

▼成瀬ダム事業の平成十七年度予算は十六億千四百万円が予定されている。主な事業は国道三四二号の付替工事や下流工事用道路(岩井川バイパスから看沢)の工区継続、事業用地取得と各種調査・設計が計画されているようである。

▼村道宮田上林線の完成により、田子内地区表通りの交通量を緩和したことで、子供たちも安心・安全に通学・通園できるようになったと考えている。



岩井川地区座談会(2月27日)

出されたご意見等は、今後の村づくりに反映させたい。

## 中学校校舎を

## 大規模改造



教育長

▼村内児童生徒221名、大きな事故や非行・不登校もなく、全員修了・卒業の予定。

▼小学校では、郡市読書感想文コンクールで「特選」の児童をはじめ、全国児童美術展等で多くの児童が受賞している。

▼中学校では、英語検定や漢字検定など、各種検定・級取得に挑戦する生徒が増えている。

▼昨年、登録有形文化財として国の文化財登録原簿に登録された田子内橋に、銘板を埋め込んだ記念碑を橋のたもとに設置した。

▼中学校校舎及び体育館は築29年を經過し老朽化が懸念されていたが、この度、国の「公立学校施設整備費補助金」の補正予算で認定を受けることができる見込みとなり、校舎棟の大規模改造工事を進めていきたい計画。工事概要はまだ基本計画の段階だが、中学校職員の意見を取り入れながら計画しているところである。

# 平成17年度 予算審査

## 一般会計及び特別会計総額 46億円余りを可決

予算特別委員会は「全予算案を可決」と報告  
本会議では全予算案を満場一致で原案可決

平成十七年度の一般会計と特別会計の計八件の歳入歳出予算の審査は、議長を除く十三人の議員で構成する予算特別委員会（委員長・佐々木謙吉）を設置し、三月十日と十四日の二日間にわたり行われた。今回はそのうち一般会計予算に関する主な質疑についてスポットをあてた。

### ごみ処理の対策

**問** 各地区内でのごみ出しのルール違反について、その点検結果や問題点等を地区住民に報告しているか。また、現在村でごみに関する会議は年一回の「環境保全会議」のみであり、マナーの徹底や今後の資源化と減量化を住民に浸透させるのは困難と考える。もつと婦人層を巻き込んだ具体的な対策が必要と思うが如何か。

**答** 点検結果は、近日中に開催予定の「環境保全会議」などに向け、今までの傾向等をまとめていくところで特に公表はしていない。もつと女性の参画が必要との意見は同感だ。それについて今具体案はないが、ごみに関する実態把握のため、十七年度に計画している処理場視察見学等に積極的に参加していただきたいと考えている。

### 沼又処分場の工事内容

**問** 発生ガス対策設備工事とはどのような内容か。その工期と地元業者が施行可能かも併せて聞く。

**答** 現在処分場内にある廃棄物に全面覆土をするが、埋め立てられた廃棄物の中には、地中で腐敗しメタンガス等を発生させる物も含まれているので、そのガスを地中に蓄積させず空中に発散させる工事で、一部指導は必要と思うが、特殊な工事ではないので地元業者で対応可能と考える。早期着手し年度内に終了したい。

### 公有林整備事業の内容

**問** この事業の内訳は、また事業採択は確定しているのか。

**答** 主なものは沼の上、キツフシを中心とした下刈り並びに間伐、植栽である。国・県の予算は従来補助金制度が変わる見込みで、まだ採択には至っておらず、事業実施計画の段階である。

### 保育料の引き上げ

**問** 十七年度も保育料を引き上げる予定のようだが、今、村の基準は国の基準と比較してどれくらい低いものなのか。また、何年度頃まで上げていく予定か。

**答** 国の基準と村で徴収する保育料の差は各階層によって違うが、第三階層で七十二％・第四階層で六十三％・第五階層で五十七％に設定をしたい意向だ。上げ幅は十六年度と同程度を想定している。引き上げは段階的に行い十六年度から五年程度で、国の基準に近いところまで調整を図りたい。

### 高齢者住宅整備資金の貸付要件

**問** この資金は、住居のバリアフリー化や、風呂及びトイレ等の改修なども貸付の対象となるか。

**答** 高齢者の方々が住みよい環境をつくるという意味合いで、居室整備のみならずこのようなことは貸付の対象になると考える。

### 夢プラン応援事業の内容

**問** これの具体的な内容を聞く。

**答** アスパラガスの圃場の造成と菌床椎茸新規参入者のパイプハウス二棟、そしてすでに菌床椎茸に取り組んでいる方のパイプハウスの改修である。



新年度予算は特別委員会で審査

## 除雪関係予算の内容

**問** 除雪費の消耗品費約三百七十二万円と光熱水費約三十一万円の内訳を聞く。また今冬は大雪で除雪に携わった方々は難儀をしたことと思うが、労働時間はどれくらいになっているのか。

**答** 消耗品は融雪剤・除雪機械のオイル・チェーン・工具等が主なものである。光熱水費は岩井川環状線及び中学校までの宮田上林線の水供給用ポンプ等の電気料だ。オペレーターの勤務時間については、土・日曜日や早朝の時間外勤務時間が、豪雪となった一月や二月は一人百時間から百五十時間に及んだ。



豪雪でフル稼働の除雪車（樺台地区）

## 使える森を作るための

### 路網整備事業の主な場所

**問** この事業で予定されている場所はどこか。

**答** 田子内・下田地区、岩井川・入道地区、樺台地区の各施設計画地区に三路線計画している。

## 道路維持工事費の内容

**問** これに一千万円予算措置されているがその内容を聞く。

**答** 春と秋のガードケール及び防雪柵等の設置や撤去費用、村内全線の舗装補修や区画線設置工事費、村道の不動沢・館ヶ沢・松ヶ沢・岩井川下村各線の砂利敷など維持補修工事などである。

## 情報化対策委託料

**問** システム機器保守やシステム企画設計・修正の委託料で千七百五十八万円余りと高額だ。これはやはり専門分野の特定業者でないといけないものか。また委託の際には見積もり入札などを行っているか。

**答** ITと言われる分野については専門的知識が必要で職員の対応は無理と考える。専門職員の給与体系は格段に高く行政としては委託が最善と思うが、機器数を減少して保守委託料の削減を図る必要があると考えている。同じ仕様であれば見積もり入札も可能だが、ほとんどが提案協議なので提案された中で最も効率的で安価なものを採用している。

## 小中学校の危機管理体制

**問** 最近小学校などで命に関わるような悪質な事件等の報道を目にする。これに対して村内の小中学校では何か対策を講じているか。

**答** 防犯対策として小中学校には防犯カメラを設置している。中学校には不審者の侵入を防ぐため出入口にインターホンを取り付けており、小学校にも取り付け予定である。小中学生は全員防犯ベルを携帯しているが、登下校時はできるだけ保護者の協力を得て、可能な範囲での出迎えをお願いしてい

る。小学校では不審者侵入を想定した避難訓練も実施済み。いま取れる対策はすべて取っており、県教委等からの指示に対しても報告している。

## 観光費の修繕料と 工事費の内容

**問** これの具体的な内訳を聞く。

**答** 修繕料は庄雪車五台の修理で五百万円と、須川湖キャンプ場施設の融雪災害等で八十万円を見込んでいます。工事費についてはスキ一場ジュネスワンの屋根の改修に六百万円と栗駒山荘の雪害分で三百万円である。

## 中央要望会を実施

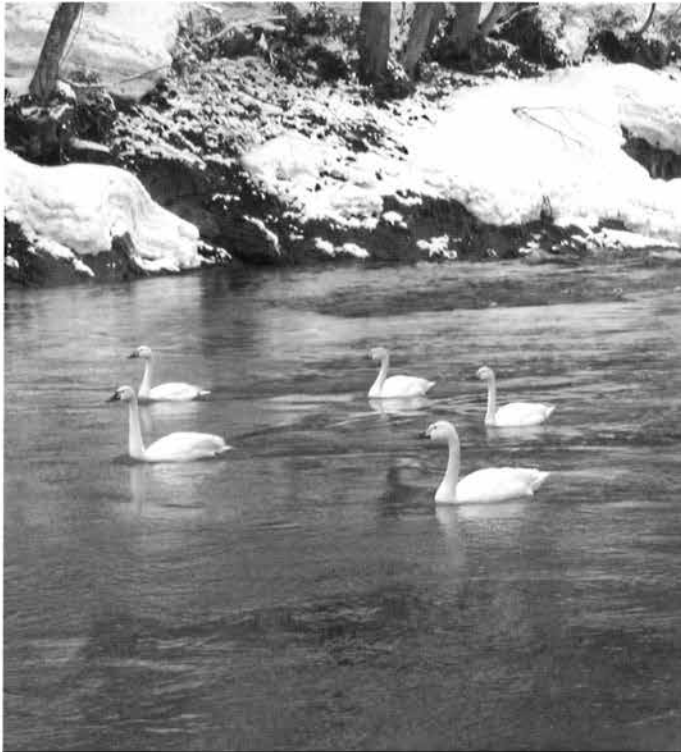
議会では去る二月七日、村と合同で中央要望会を実施した。

参加者は正副議長と総務教育民生常任委員六名。村当局からは村長外二名で、秋田県選出議員等七名の各党国会議員と国土交通省及び財務省を訪問。村の活性化に向けたことを主な内容とする要望活動を行った。

① 地方財政計画及び地方交付税等の見直し  
② 成瀬ダム建設事業の促進  
③ 国道三四二号道路整備の充実  
④ 農用地の土地利用規制の弾力的運用



村の願いを届ける（金田参議院議員に要望書を）



## 成瀬川に5羽の白鳥が

3月30日 岩ノ目橋(手倉)付近にて

四季の ONE SHOT

日本は災害列島であると言われている。なるほど、そうなのかもしれない。昨年は、大型台風の数多くの日本上陸、新潟中越地震、そして今年の福岡西方地震など、最近異常である。被災された人々には、改めてお見舞いを申し上げるとともに、一日も早く元の生活に戻れるようお願いしたい。

災害は予期せぬ形で、何ときでも襲ってくる。日々最低限、身を守る対処は心得たいものである。

象潟地震を記録した「金浦年代記」には「地下水の出水などがあれば地震の前兆と思え、「潰家」から人を救出するため、マサカリ・ノコギリなどを備える心得を絶えずべからず」、そして仮小屋、非常米までの記述があるという。実際の被害に基づいた教訓であり、参考にしたいものである。

今冬は大変な豪雪であった。いよいよ春本番、農作業が本格化する。作業に支障がないよう、早く雪解けが進むことを望みたい。そして、夏は暑くあつて欲しいと・・・

(委員・佐々木 謙吉)

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会  
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1  
TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3260  
E-mail: gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

■印刷/株式会社増田印刷所

# 私もひとごと



入道  
高橋ルミ子さん

「少子化について」

私も子育てしている一人として感じていることは、少子化に歯止めをかけようと、村全体でこのことについて取り組んでいると思います。

しかし、現実には甘くないもので、子供を生き育てることはものすごく大変な重労働であり、経済的にも余裕がないために本当は「もう一人、子供が欲しいのに・・・」と思っている人が多いのではないのでしょうか。

現在も子供の数が少なくなってきたことは、村にとってとても残念なことです。

だからこそ、いま子育てしている人や、これから子育てされる皆さんの負担を少しでも軽くできるよう、村全体で協力し合わなければならぬと思います。

そのためには、村民一人一人の意見を全部聞くことは難しいかもしれませんが、少しでも耳を傾けてくれる村であって欲しいと私は願います。

## 編集室